

富士見台小だより

特別号

2024年2月19日
調布市立富士見台小学校
TEL042 (481)7640
校長 小俣 弘子

「令和5年度の教育活動に関する調査」アンケートについて（報告）

「令和5年度の教育活動に関する調査」（学校評価アンケート）について、ご報告をさせていただきます。
保護者の皆様にはご多用の中、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

本調査では、児童・保護者・教職員の三者で同じ内容のアンケートを実施しています。それぞれの質問項目の回答を比較する中で見えてきた成果や課題、評価結果に特徴がみられる設問等について考察しました。以下、結果と考察をまとめましたのでご覧ください。これらを踏まえ、次年度の教育計画を立案しております。なお、教職員の回答につきましては、正規教員以外の講師等の職員も含まれております。

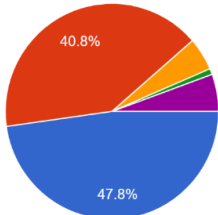
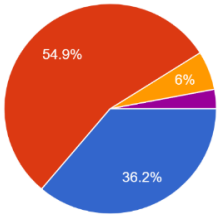
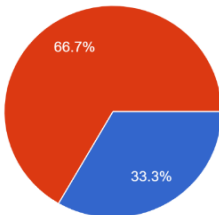
集計方法・回収率 Google Form による回答 保護者の方からの回答 235 件（回収率 45%）

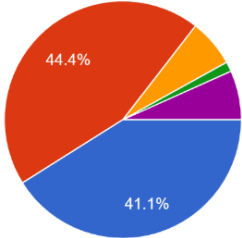
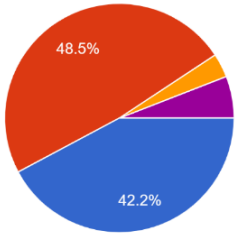
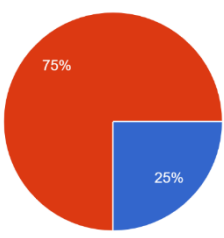
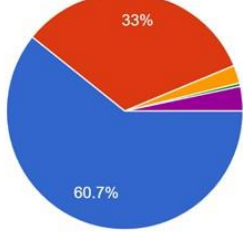
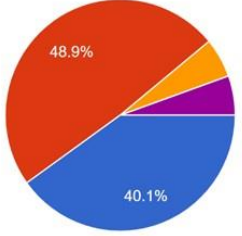
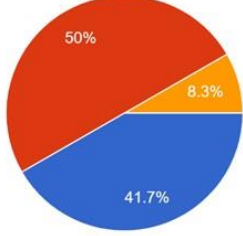
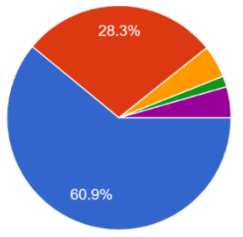
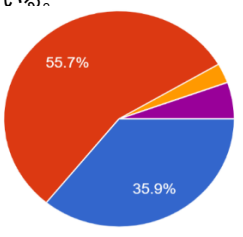
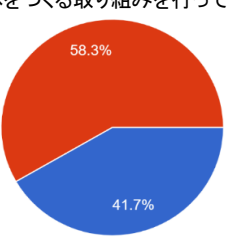
結果の見方

児童の回答の 円グラフ	保護者の回答の 円グラフ	教職員の回答の 円グラフ
----------------	-----------------	-----------------

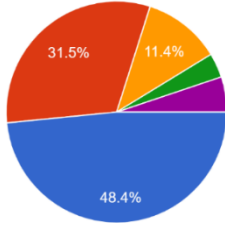
- A よくあてはまる
- B あてはまる
- C あてはまらない
- D 全く当てはまらない
- ☆ わからない

肯定的評価・・・「A よくあてはまる」と「B あてはまる」を合わせた割合
肯定的評価が 85%以上を「よい評価」と捉えて学校の考察を示しております。

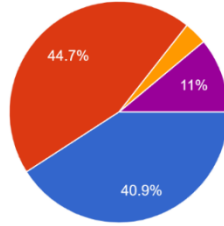
児童用アンケート	保護者用アンケート	教職員用
1【まなぶ】じゅぎょう中、「わかった」とか「できた」と思いながらべんきょうしている。 	1【基礎的な学力】お子さんは、基礎的な学力を身に付け、「わかった」「できた」という達成感を味わっている。 	1【基礎的な学力】児童に、基礎的な学力を身に付け、「わかった」や「できた」という達成感を味わわせている。 
肯定的評価 児童88.6% 保護者91.1% とよい評価となりました。 本校の教員の校内研究では、学びのユニバーサルデザインの視点を取り入れ、どの子も主体的に取り組めるよう指導法や支援の仕方の研究に取り組んでまいりました。発問の仕方、分かりやすい板書の書き方、教材教具の工夫、見通しのもてる授業展開など様々な工夫を取り入れることで児童の「分かる・できる」につなげてきたことの成果ではないかと考えます。児童、保護者とも C・D 評価と「分からない」が 1 割程度いることから、今後さらに一人一人の学習状況をつかみ個別最適化した学びを実践できるようにすすめてまいります。		

2【まなび方】ことばや文字で、思ったり、かんがえたりしたことを つたえたり、話し合ったりしている。 	2【言語活動】学校は、子供たちが考えたことを話し合ったり、発表したりして、表現力を伸ばす機会がある。 	2 【言語活動】児童が、言葉による表現活動への意欲や技能が向上するような指導を工夫している。 
肯定的評価 児童85.5% 保護者90.7% とよい評価となりました。 主体的で対話的な授業展開、自分の考えを表現する機会の設定が授業の中で定着してきました。 授業において知識の詰め込み、教師主導型の授業からの脱却を図り、児童が課題に対して自ら考えをもち、それを話し合ったり、タブレット端末で共有したりしながら互いの考えの違いやよさに気づき、考えを深めたり高めたりしながら、問題解決を行っていく授業展開を重視してきました。今後も自ら考え、表現する力を育成してまいります。		
3【ICT 機器の活用】じゅぎょう中、アイパッドをベんきょうにつかえている。 	3【ICT 機器の活用】学校は、iPad やプロジェクターなどの ICT 機器を積極的に活用しながら教育活動を行っている。 	3 【ICT 機器の活用】iPad などの ICT 機器を積極的に活用しながら教育活動を行っている。 
肯定的評価は、児童93.7% 保護者89% とよい評価となりました。 令和2年度から急激に進んだ GIGA スクール構想によりタブレット端末は児童の学習用具の一つとして定着しています。日々の活用により、学年が上がるにつれて筆箱と同等程度の使用頻度になりつつあります。学級で一斉に使う授業だけでなく、調べ学習や考えの発信のツールとして、自分で選択して活用することができてきています。また、学習の定着を図るため、アプリを使ったドリル学習も取り組んでいます。保護者の方から、「もっと活用をしてほしい」という願いがあることが分かりました。学校として、系統性を重視し、学年共通した使用、年間計画に基づいた活用を徹底し学級での差がないように努めてまいります。教員の ICT 研修を数回行い、授業での積極的な活用をすすめてまいりました。		
4【健康教育】からだをうごかし、しっかりたべたりして、けんこうなからだをつくらうとしている。 	4 【健康教育】学校は、体育的な活動の充実、保健や食育の指導を推進し、健やかな体をつくる取組を行っている。 	4 【健康教育】体育的な活動の充実、保健指導の実施、食育の推進などを通して、児童が健康で健やかな体をつくる取り組みを行っている。 
肯定的評価 児童89.2% 保護者92.6% とよい評価となりました。 晴れた日は、外遊びを推進していて、多くの児童が活発に遊んでいます。体力向上の取組として、今年度は2学期末から3学期にかけて、長縄跳びの取組を行いました。各学級に目標回数を決めて取り組んだことで学級のみんなで外で遊ぶ機会の設定となりました。また、学級の輪を深める学級が多くあったこともこの取組の成果となりました。 また、月に1回行われている縦割り遊びにおいて6年生の企画でいろいろな遊びを楽しんでいます。外遊びの楽しさを実感するとともに、児童の遊びのレパートリーを増やす機会にもなっています。 また、体育の授業内容の充実が図れるよう学年で話し合い、児童の実態に即した指導や支援を今後も継続して行なってまいります。		

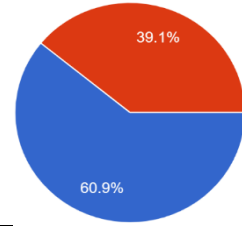
5【読書活動】あじさい読書月間、もみじ読書月間や、まい週木よう日の読書タイムを通して、よく本を読んでいる。



5【読書活動】読書月間や読書集会、毎週木曜日の読書タイム等を実施し、読書活動を充実させている。



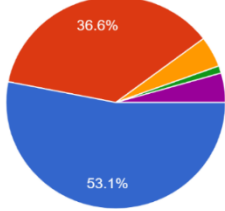
5【読書活動】読書月間や全校用み聞かせ、毎週木曜日の朝の読書タイム等を確実に実施し、読書活動を充実させている。



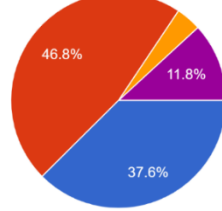
肯定的評価は、児童79.9% 保護者85.6%となりました。

毎週の読書タイム、地域の方による読み聞かせ、読書月間の取組など行ってきました。個々の児童の読書量を増やすための取組も行っていました。しかしながら児童のCD評価が15%程度いることが分かりました。個別に読書の状況を把握すると二極化が見られることから、読書が苦手の児童にも読書の楽しさを伝える取組を工夫する必要があります。学年に応じた本の紹介だけでなく一人一人の興味・関心に合った本の紹介・提供や、教科と関連させた読書の機会の設定など取組の充実を図ってまいります。

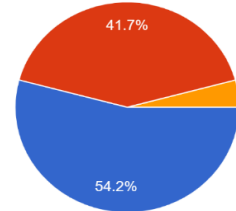
6【体験的な学習】学校のじゅぎょうで、いろいろなところに見学に行ったり、ゲストティーチャーにおそわたりして、くわしく学んでいる。



6【体験的な学習】ゲストティーチャー（地域や企業等方から学ぶ）の活用や校外学習など体験的な学習等を充実させている。



6【体験的な学習】ゲストティーチャー（地域や企業等方から学ぶ）の活用や校外学習など体験的な学習等を充実させている。

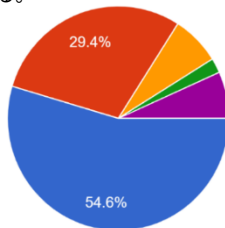


肯定的評価は、児童89.7% 保護者84.4%と児童は、よい評価となりました。

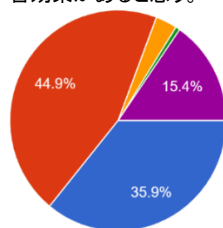
各学年で体験活動、見学、出前授業、ゲストティーチャーをおよびしての出前授業等、地域や外部の人材の活用を率先して行いました。教室の授業だけでなく、このような社会とつながる授業を取り入れることで、児童の知識や技能を高めるだけでなく、新しい視点や課題を発見する機会となりました。また、様々な大人に会う機会は、これからの生き方を考える機会ともなっております。本取組は、今後も継続して行なってまいります。

ゲストティーチャーを招くに当たり、地域学校協働本部の方々に様々なご協力をいただいております。

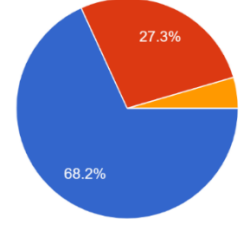
7【算数】（3～6年生のみ答えてください）算数の授業で、コース別に分かれて学習すると、よく学べる。



7【算数習熟度別指導】（3～6年生の保護者の方のみお答えください。）算数の授業で習熟度別による指導は学習効果があると思う。

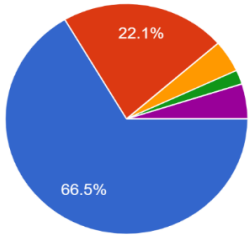
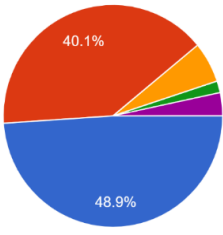
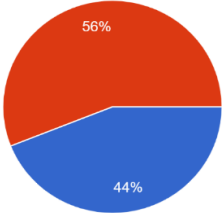
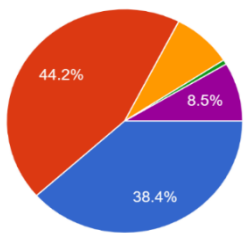
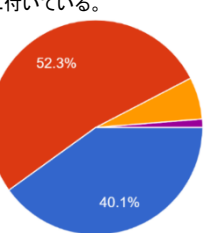
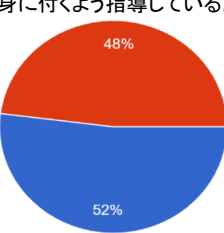
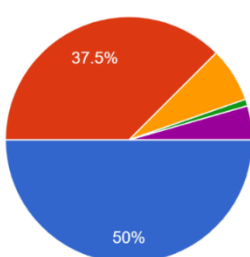
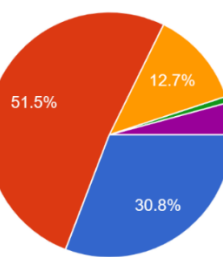
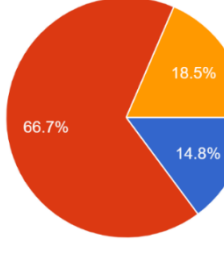


7【算数習熟度別指導】算数の授業で習熟度別による指導は学習効果があると思う。（3～6年生の指導）

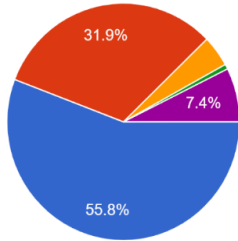


肯定的評価は、児童84% 保護者80.8%となりました。

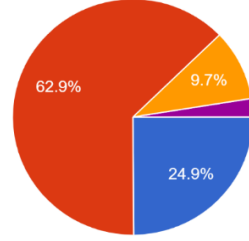
昨年度に比べ児童の評価は向上しました。しかし、「あてはまらない」と回答児童が1割程度いたことから、今後の授業改善が必要と考えます。習熟度別グループに応じた指導計画・指導方法の工夫を行ってまいります。じっくり学ぶグループでは基礎基本の定着を図るための工夫、学習ペースが早いグループでは発展的な内容の問題を取り入れる工夫など、どのグループでも「分かる・できる・楽しい」と思える授業展開を目指して取り組んでまいります。併せて、グループ編成の段階でも児童の習熟度や児童の意向等も鑑み、落ち着いた学習環境になるよう進めてまいります。

8【学校は楽しい】学校には 友だちがいて、行くのがたのしい。 	8【学校は楽しい】お子さんは、学校に友達がいったり、日常生活を楽しみにしたりしながら学校に行っている。 	8【学校は楽しい】多くの児童が、学校に友達がいったり、日常生活を楽しみにしたりしながら学校に来ている。 
肯定的評価は、児童88.6% 保護者89%とよい評価となりました。 児童の多くは、A評価「よくあてはまる」となっています。しかし、児童・保護者とも「当てはまらない」が一定数いることを受け、改善に向けて取り組んでまいります。 学級が安心した居場所、友達との絆づくりの場所となるように互い認め合える雰囲気을大切にしていじめにつながる言葉や行動を軽微なうちから丁寧に対応し徹底してなくす指導を行うことも教職員で共通理解して取り組んでまいります。		
9【ルールを守る・基本的生活習慣】学校のきまりやじかんのまもることができている。 	9【規範意識・基本的生活習慣】お子さんは、学校のきまりや生活のルールを守る意識をもっており、基本的な生活習慣が身に付いている。 	9【規範意識・基本的生活習慣】児童に、学校のきまりや約束を守る意識をもたせ、基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。(接している) 
肯定的評価は、児童82.6% 保護者92.4%となりました。 児童の「あてはまらない」が昨年度より増加しています。 学校のルールの確認、生活や学習規律の指導の定着を図っていきます。児童には、何のためにこのルールを守るのかを考える機会を設けるとともに、ルールやマナーについての意識の向上を図ってまいります。 毎週金曜日に教職員で行っている生活指導夕会では、その週の児童の様子を振り返り情報共有をしております。安全な生活、周りのことを考えた行動ができるように指導方針を教員で共通理解し、各学級で児童に指導を行うようにしています。 また、教職員は児童の実態・問題点に応じて時には毅然とした姿勢で指導や支援を行うよう努めてまいります。		
10【あいさつ】自分は、よくあいさつをしている。 	10【あいさつ】お子さんは、よくあいさつをしている。 	10【あいさつ】子供たちはよくあいさつをしている。 
児童は、87.5%が肯定的評価となり、よい評価となりました。 「あいさつ運動」や「あいさつ名人」等の取組で、多くの児童は自らすすんであいさつができています。中には、立ち止まったり、「〇〇先生おはようございます」と名前をよんだり、かぶっている帽子をとってあいさつをしたりする児童もいました。あいさつは、「相手を大切にする行動」として、言葉に出して行うことを引き続き指導してまいります。 周りの大人が、どれだけあいさつでかかわり、コミュニケーションをとることができることも、大きく影響してくると思います。教職員、地域・保護者の方と力を合わせ、挨拶を大切にする児童を育成していきたいと考えております。今後とも、よろしくお願いいたします。		

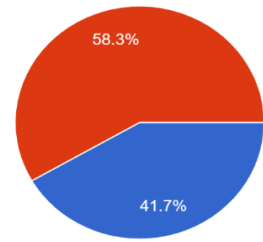
11【ICT 機器のルール】学校のアイパッドのルールをまもれている。



11【ICT 機器のルール】学校が示した ICT 機器のルールを参考にしながら家庭において iPad 等の ICT 機器や SNS の使い方についてのルールをお子さんに守らせている。



11【ICT 機器のルール】学校が示した ICT 機器のルールを児童に守らせている。

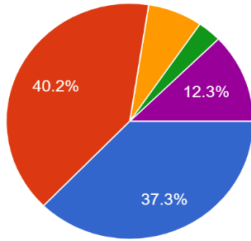


肯定的評価は、児童87.7% 保護者87.8% とよい評価となっています。

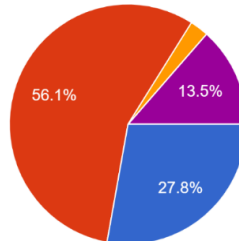
年度当初に iPad のルールについては、全校で指導、確認をしております。その際に活用している「iPad を使う時のルール」を配布し、タブレットバッグの中に常時入れております。年度当初だけでなく、2,3 学期も学期の始めて全校で確認する時間を設定し、ルールが継続して守れるようにしています。

児童と保護者で「あてはまらない」が一定数いることが分かりました。児童の実態として、教具の一つとして日常的な使用が定着した分、操作に慣れ技能が向上する中でルールを守れていないこともありました。iPad の使用方法だけに限らず情報モラルの指導を充実させ、安全で有効な使い方になるよう指導を継続してまいります。また、学校全体で指導したときには、保護者の方にもメールやホームページ等を通じて情報を共有することを行ってまいります。

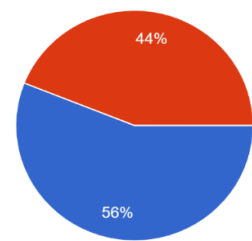
12①【よさ】先生や 友だちに、みとめられたり、ほめられたりしている。



12①【自己肯定感】お子さんは、先生からほめられたり、認められたりしている。



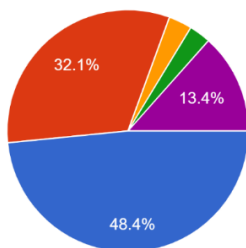
12①【自己肯定感】児童に、大人や友達などから認められたり、褒められたりする活動を行っている。



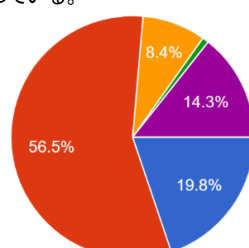
児童77.5% 保護者83.9% となりました。

児童の自己肯定感を高めるためには、周りの大人が子どもの頑張りにつけ、ほめ、認め、励ます言葉かけがとても重要となってきます。しかしながら児童の CD 評価と「分からない」が12.3%いることが分かりました。教員は100% 肯定的評価で回答しているところから、ほめているけど一人一人に伝わっていないのではないかと考えます。今後は、更に一人一人の頑張りやよさを発見し、一人一人の自己肯定感を高める努力を行ってまいります。

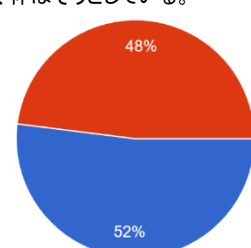
12②【よさ】自分には、よいところがある。



12③【自己肯定感】お子さんは、自分のよいところが分かっている。



12②【自己肯定感】児童一人一人に自分のよさに気付かせ、伸ばそうとしている。

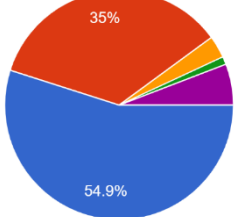
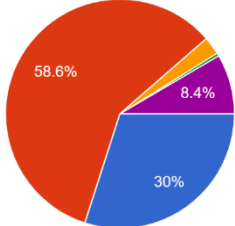
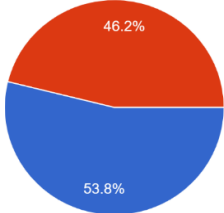
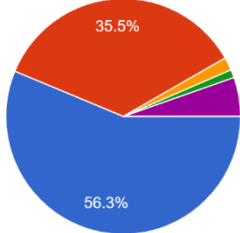
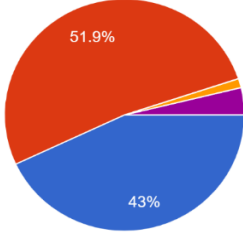
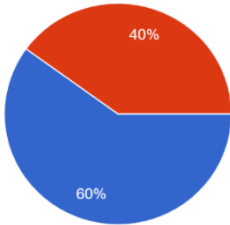
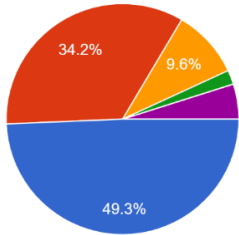
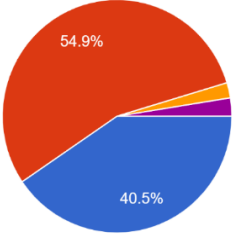
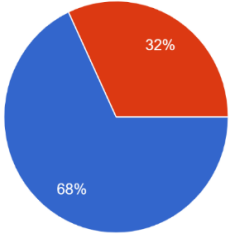


この評価項目は、今年度新設しました。

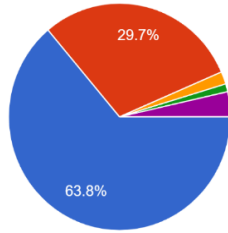
児童 80.5%が肯定的評価となりました。特に A 評価「よくあてはまる」が半数近くになったことはよい評価と捉えています。

否定的な児童は少ないですが、「分からない」と回答した児童がまだ多くいることが分かりました。

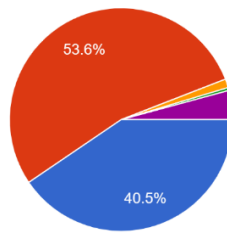
引き続き一人一人に自分に自信をもたせる工夫、よさをその子自身に実感させる工夫を行ってまいります。

13【自他を愛する】自分とほかの人は ちがいがあ ることがわかっている。また、自分もほかの人 も大切にしようとしている。 	13【自他を愛する】お子さんは、自分と他者では 違いがあることが分かり、自分も友達も大切にし ている。 	13 【自他を愛する】児童に、自分と他者とは違いがあ ることを理解させ、多様性を尊重して自他を大切にでき るように指導している。(接している) 
肯定的評価は、児童89.9% 保護者88.6%となりよい評価となりました。 自他ともに大切にしている取り組みとして ・相手を大切にしたいあいつ ・授業や生活の中での認め合い ・たてわり班活動などの異学年交流 ・かしわ学級との交流 ・道徳等を通じての人権教育（障害者 高齢者 LGBT等） ・いじめ、差別、偏見を許さない心の育成に努めてきました。今後も、継続し児童の豊かな心を育てていきます。		
14【開かれた学校】おうちの人が学校に来て、子 どもたちを見るきかいがある。 	14【開かれた学校】学校行事や授業公開、地域や保護 者の方による授業支援などを通して、開かれた学校を 目指している。 	14 【開かれた学校】学校行事や学校公開、保護 者による授業支援などを通して、開かれた学校 を目指している。 
肯定的評価は、児童88.6% 保護者94.9%となりよい評価となりました。 コロナから明けて、様々な学校行事、地域行事、校外学習、他学年交流などできるようになりました。また、これらの取り組みについても、ただ以前に戻すという発想ではなく、コロナ対策の経験を通じて得た方法も生かしながら、実践してまいりました。今後も、開かれた学校を目指して取り組んでまいります。		
15【情報発信】おうちのの人に、学校であったことを つたえている。 	15【情報共有】学校便り、安心安全メール、ホームペ ージ、classroom、保護者会等を通して、保護者・地域の方 に情報を提供し、連携を大切にしている。 	15 【情報発信】学校だより、安全安心メール、ホームペ ージ、classroom、保護者会等を通して学校の様子や情 報を発信し、保護者・地域の方々との連携を大切にしてい る。 
肯定的評価は、児童83.5% 保護者95.4% となりました。 児童・保護者とも評価が向上しています。 各学級等によるクラスルームでの連絡、画像や動画等の情報発信に取り組んでまいりました。また、学校ホームページ、学校便り、安心・安全メールの充実も行なってまいりました。今後も、地域・保護者の方と情報を共有し、同じ方法に向かって児童を育てていきたいと考えています。		

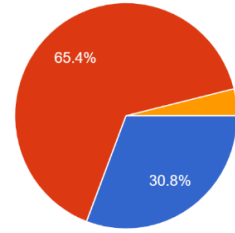
16【安心・安全】さいがい時のひなのしかたやあんぜんなすごし方をまなんでおり、あんぜんにすごせている。



16【安心・安全】学校は、子供の安心・安全な生活のため、避難訓練や安全指導などを通じて知識や実践力を身に付けさせたり、校内施設を安全に保とうとしたりしている。



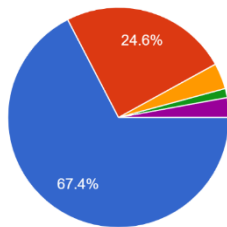
16 【安全安心な環境】児童の安心・安全な環境を整えるために、校内施設や設備等を安全に保とうとしたり、児童に安全に関する知識や実践力を身に付けさせている。



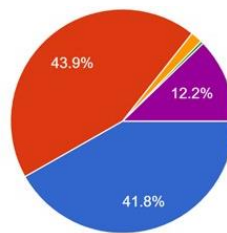
肯定的評価は、児童93.5% 保護者94.1% とよい評価となりました。

避難訓練時に児童自身もまじめに取り組んでいる自覚があると考えます。今後は、自ら判断して身を守る行動が取れる児童に育てていくことを大きな目的として取り組んでまいります。避難訓練では、リアリティのある想定と避難方法を考え、実践を積み重ねていきます。今年度保護者の方に「災害時対応マニュアル」を配布いたしました。卒業時まで保管ください。

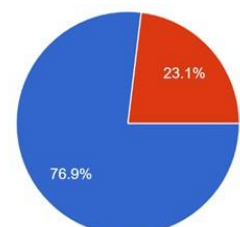
17【地域学校協働本部】学校には先生いいに、学校をささえている人がいることを知っている。(クラスでのペンきょうのお手伝い、かん字けんてい、花だんの草とり、ほうかご学しゅう教室など)



17【地域学校協働本部】地域学校協働本部の活動(授業ボランティア・放課後学習教室・漢字検定・畑の整備など)が、教育活動や教育環境の充実につながっている。



17 【地域学校協働本部】地域学校協働本部の活動(漢字検定、学年園等の整備、地域人材を活用したボランティア・ゲストティーチャー、放課後学習教室など)が、教育活動や教育環境の充実につながっていると思う。

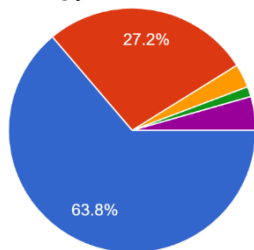


肯定的評価は、児童92% 保護者85.7%とよい評価となりました。

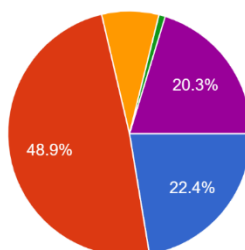
地域学校協働本部の取組は、毎日の支援員の派遣、放課後学習、漢字検定、ゲストティーチャーの派遣等、日々の学校教育を支えていただいております。「地域に開かれた学校、地域とともに育つ子ども」を目指して、今後も連携を深めてまいります。本部のコーディネーターの方の運営の素晴らしさに日々感謝しております。

保護者の方の「分からない」の評価が昨年度に比べて減り、地域学校協働本部の様々な取組が広まったと考えています。また、今年度は、地域学校協働本部の支援だけでなく、保護者の方の見守りや校外学習の引率補助など多くのご協力をいただきました。ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

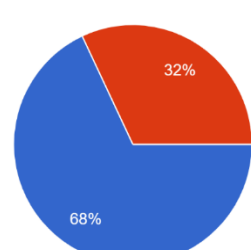
18【相談体制】こまったことや、なやみがあれば、たんにんの先生いいに、そうだんできる人がいることを知っている。



18【相談体制】学校は、お子さん一人一人のニーズに合わせた、相談しやすい体制を整えている。



18 【特別支援教育】必要に応じ、スクールカウンセラーや特別支援教育コーディネーターなどの人材を活用し、児童一人一人のニーズに合わせた教育を行っている。



肯定的評価は、児童91% 保護者71.3% となりました。

児童にとっては、概ね相談しやすい環境になっているといえますが、「当てはまらない」と回答している児童もいるため、相談体制の整備と相談窓口の周知をしていきます。周りの大人にだれにでも、相談してもよいことを伝え、話しやすいように日ごろから寄り添うようにしてまいります。

保護者の方は、「分からない」という回答が2割ということが分かりました。カウンセラーからのお便りの充実や担任をはじめとする教員への相談しやすい環境づくりに努めてまいります。2月の「カウンセラー便り」では、相談の仕方を分かりやすく掲載いたしました。

ご相談がありましたらいつでもお声掛けください。

【自由意見】〈保護者〉より

ご意見・ご感想を多数いただきました。いただいたもの全てを教員で共有しました。今後の参考としていきます。また、日頃の教育活動での取り組みについて、多くの保護者の方から感謝の言葉、お褒めの言葉をいただきました。教職員にとって何よりの励みとなり、子供たちのために頑張る気持ちがさらに高まりました。ありがとうございました。すぐ改善できることは、3学期から行っております。

ご意見の中の一部を紹介いたします。 →…学校からの回答です。

- ・ランドセルが重いと感じている。
→学校全体でほとんどの教科書とノートを「置き勉」しております。
全学級で継続して行われているか確認し軽減を図っていきます。
- ・今後も体験型の授業を増やしてほしい。
→引き続き、ゲストティーチャーを招いたり、校外に見学に行ったりなどの機会を適切に設定し、体験型の授業を行ってまいります。
- ・感染状況について情報がほしい。
→感染状況に応じて安心・安全メールで情報提供を行っております。引き続き感染拡大防止のため行ってまいります。
- ・最近 社会的に性犯罪が多い。対処方法などのいのちの安全の授業を行ってほしい。
→自分の体や心を守る「生命(いのち)の安全教育」を7月に全校朝会で行いました。今後は、各学年で授業を通じて学ぶ機会をもち、危険から回避できる力を育ててまいります。
- ・算数少人数のクラス分けについて 子どもがどうしてこのクラスになったか分かっていない。
クラスによって、分かりやすさがちがう。
→中・高学年の算数少人数のクラス分けについては、準備(レディネス)テストの結果と本人の希望を鑑み、教員が決めております。本人の希望と異なり疑問に感じるときには教員が相談にのり、納得いくようにすすめてまいります。
また、グループに応じた指導法になるよう教員間で教材研究を深め、授業力向上に努めてまいります。
- ・学校便りが月末配信なので、次の月の始めの予定が分からない。
→令和6年1月号より1月の予定だけでなく2月の最初の1週間の予定を入れるようにしました。
- ・学校便りを紙で配布してほしい。置いてある場所に取りに行ってもないといっている。
→学校便りと給食だよりは、データ配信を基本として、印刷したものを事務室前に常時おいてあります。お子さんを通じてお持ち帰りください。もし、なくなっている場合は、お手数ですが担任に伝えてください。
- ・カウンセラーなどへの相談の仕方がよく分からない。
- ・カウンセラーの予定が知りたい。予約のとり方を知りたい。
→2月のカウンセラー便りで予約のとり方を分かりやすく掲載いたしました。相談室への直通電話もありますのでご活用ください。不明な点は、いつでも副校長までご連絡いただいても構いません。
- ・トイレを改善してほしい。
→これは、児童からも要望が多かった意見です。
毎年、継続して学校からもPTAの方からも調布市に要望をしております。引き続き、要望を行ってまいります。

2月3日(土)に行われた学校評議委員会、学校関係者評価委員会におきまして、委員の皆様アンケート結果を共有し、下のとおりのご要望、ご感想をいただきました。

- ・学校の取組の成果が表れているので、引き続き学校が成長できるように頑張してほしい。
- ・児童の評価が高くて素晴らしい。今後もたてわり班活動など人との交流場面を大切にしてほしい。
- ・今後さらに読書を推進できるように取り組んでほしい。
- ・多くの保護者の方の意見を聞くために保護者の方の回答回収率が上がる工夫を行ってほしい。

学校といたしましても、より多くの方の意見を聞くことができるよう、周知の仕方や実施期間等について検討してまいります。今後ともご意見やご要望がありましたら、いつでも遠慮なく学校にお伝えください。

保護者・児童からの回答では、多くの設問で肯定的評価が85パーセント近くとなりました。全体として、良好で適切な教育活動が実施できていると捉えております。今後も児童たちのために、教職員一同努力してまいります。